

授業改善研修会 音楽

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

義務教育課 人権・キャリア教育推進係

昨年度の取組

本日のまとめ

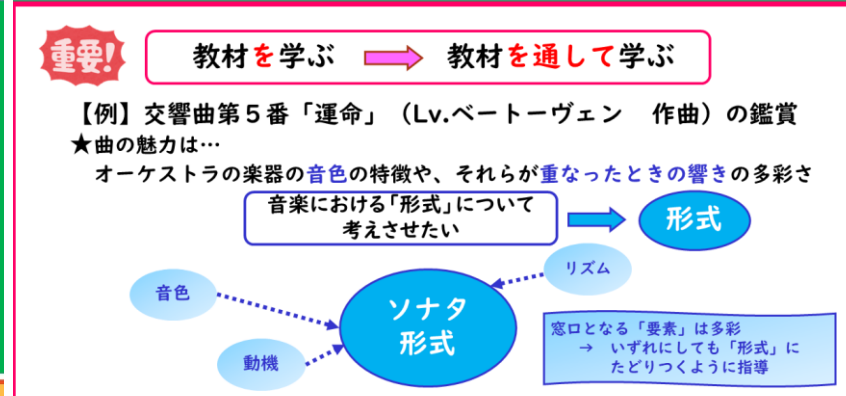
- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す

音楽科の題材のつくり方



題材をつくる際には思考・判断・表現の拠り所となる、「音楽を形づくっている要素」を明確にして構成しましょう。

題材構想と教材（曲）との関わり



なぜ、音や音楽で確認するのか



～本日の内容～

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～音楽科の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 音楽科の「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～

本日のまとめ

- 音や音楽との出会いから、題材の課題を引き出す
- 表現への思いや意図をさらに膨らますことができる交流活動を設定する

0. はじめに...

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
 - 教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等)を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

《取り入れたい場面》

- 自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
- 対話・交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
- 対話・交流 試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く



発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

幼児教育施設

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

● 水遊びの場面(水遊びおもちゃ)



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。



子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の基となる遊びが自然に行われます。

小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

● 1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の粘土と長さを比べたいな。でもかぎと粘土が切れちゃう...



リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようにします。

リボンを使えば比べられそう。鉛筆も半分でも比べられるかも...



子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。



新校則について



生徒主体で校則を発見する生徒会活動



自分で事業所を見つけて決める職業体験



朝の早い地域づくりを目指す花鑑入ボランティア

行事等



暮らしの思いを自由に表現する作品展



自治的な話し合いに基づく手作りの行事

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習(探究)の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

エージェンシーを発揮(自律した学習者)



変化の激しい社会を自分の力で歩んでいける人

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

● 英語コミュニケーション! 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな?

Our Project
To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

ポイント

探究意欲(ワクワク感)を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

誰もが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな?



地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきます。

● 1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選べるようにします。

自分は実際に実験をしてみたいけれど、友達のように前に学んだ作業を使っても予想が合っているといえそうだな。



様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習(探究)の時間



体験や交流を通して課題を見だし場面



仲間とともに考える場面



探究してきたことをアウトプットする場面

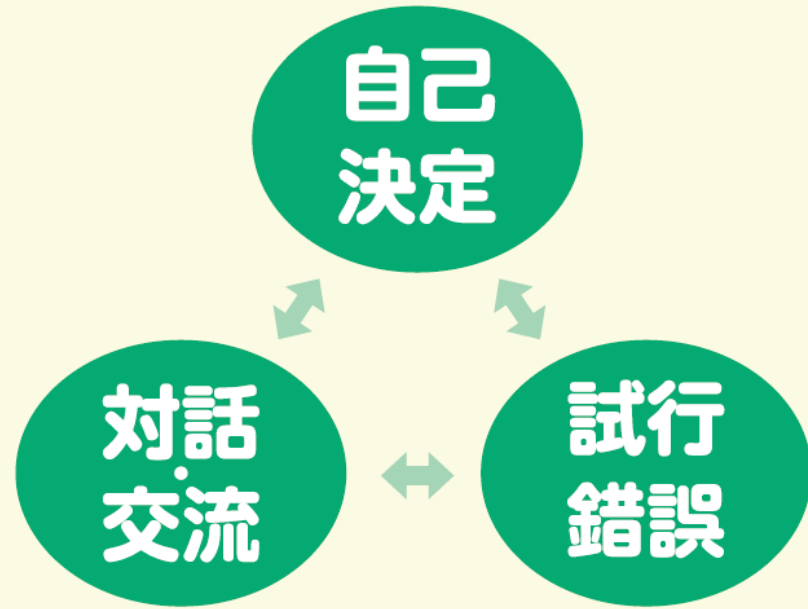
ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意欲を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

《 取り入れたい場面 》



小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

1. 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

音楽

○曲や演奏のよさや美しさを見付け、
確かめながら聴き返したり、
思いや意図をもって様々な音楽表現
を試したりしている

各教科等の指導の重点

- ・音や音楽を捉える視点となる音楽を形づくっている要素を明確にして題材を構想する。
- ・言語活動と音楽活動とを往還させ、知覚・感受したことと音楽を形づくっている要素の働きとの関わりについて、実感を伴った理解を促す。



「知覚・感受」「試行錯誤」「他者との協働」
⇒音楽科の特質に応じた過程で

1. 令和6年度学校教育の指針

磯部小学校【前時】

追求する過程

選んだ部分について、歌詞からイメージしたことや旋律の特徴を手掛かりに思いや意図をもち、**思いや意図にふさわしい歌い方の工夫を試行錯誤した**



試行
錯誤

対話
交流

試行錯誤した結果・・・

同じ旋律でも様々な表現ができることを知り、他のグループの表現への興味関心が広がった。

磯部小学校【本時】

ストーリーの流れや前後のつながりに着目し、歌い方の工夫を**比較**しながら、より場面のよさや面白さが伝わる歌い方の工夫を**試行錯誤**した



試行
錯誤

対話
交流



試行錯誤した結果・・・

前後の表現を比較することで、主人公の心情の変化にふさわしい歌い方の工夫を見付けて歌った。

2 音楽科の「姿と重点」設定の背景

「はばたくぐんまの指導プランⅡ」の題材の課題と単位時間の関係

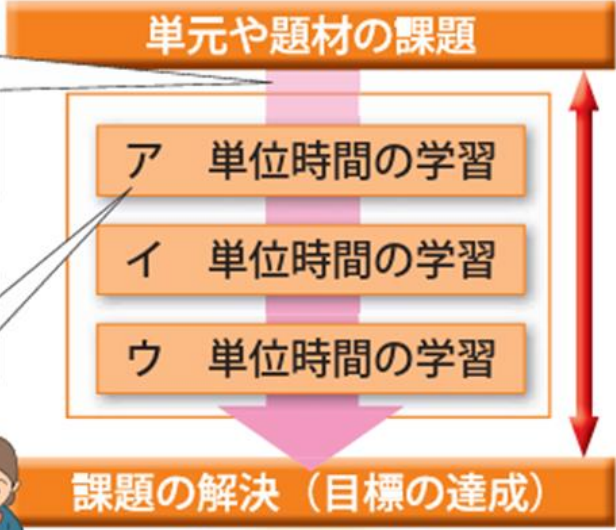
【Aパターン】

アイウと学習すれば、単位の課題を解決できそうだ！

アができたから、次はイだぞ！

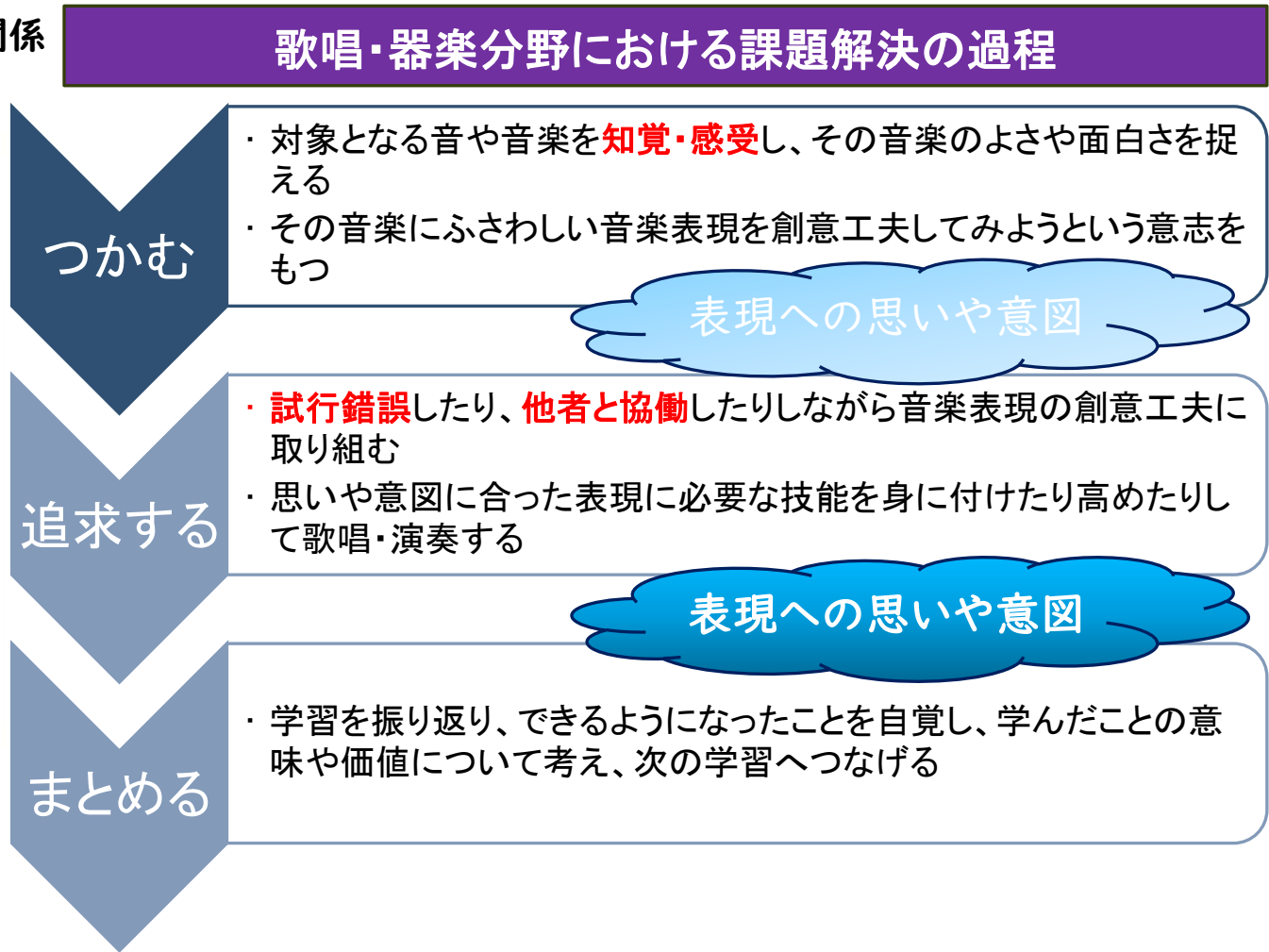
次はウね！

例えば
国語、社会、家庭科など



育成を目指す
資質・能力

過程
つかむ
追究(求)する
まとめる



歌唱・器楽分野における課題解決の過程

つかむ

- 対象となる音や音楽を**知覚・感受**し、その音楽のよさや面白さを捉える
- その音楽にふさわしい音楽表現を創意工夫してみようという意志をもつ

表現への思いや意図

追求する

- 試行錯誤**したり、**他者と協働**したりしながら音楽表現の創意工夫に取り組む
- 思いや意図に合った表現に必要な技能を身に付けたり高めたりして歌唱・演奏する

表現への思いや意図

まとめる

- 学習を振り返り、できるようになったことを自覚し、学んだことの意味や価値について考え、次の学習へつなげる

ポイント

音や音楽との出会いで、子供たちはなんとなく、音楽のよさや面白さについて知覚・感受している

音楽的な見方・考え方を働かせながら、明らかにしていく

音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの
視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」



「どんなふう？」「なぜ？」「どうして？」を明らかにしていく過程を経ることで
捉えることができる

音楽を形づくっている要素とその働き

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 音や音楽との出会いから、題材の課題を引き出す
- 表現への思いや意図をさらに膨らますことができる交流活動を設定する

- 音楽科の問題発見・解決の過程について
- 試行錯誤する活動の具体について

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 音や音楽との出会いから、題材の課題を引き出す
- 表現への思いや意図をさらに膨らますことができる交流活動を設定する



音楽科の問題発見・解決の過程について



試行錯誤する活動の具体について

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音楽科の問題発見・解決の過程

歌唱・器楽分野における課題解決の過程

つかむ

- ・対象となる音や音楽を**知覚・感受**し、その音楽のよさや面白さを捉える
- ・その音楽にふさわしい音楽表現を創意工夫してみようという意志をもつ

追求する

- ・**試行錯誤**したり、**他者と協働**したりしながら音楽表現の創意工夫に取り組む
- ・思いや意図に合った表現に必要な技能を身に付けたり高めたりして歌唱・演奏する

まとめる

- ・学習を振り返り、できるようになったことを自覚し、学んだことの意味や価値について考え、次の学習へつなげる

①音や音楽との出会いを大切に

自己
決定

学習課題をつかむ

②知覚・感受との関わりについて
考えを深め

試行
錯誤

対話
交流

実感を伴った理解

③学びの達成感や充実感を自覚

自己
決定

次の学びに向かう意欲の喚起

音楽科の「つかむ」過程

題材の学習過程

1 題材の課題を把握する。

- ◇音や音楽と出会う。
- ◇出会った音や音楽について、その雰囲気と音楽を形づくっている要素とを結び付けて聴き取る。
- ◇聴き取ったことを基に、どのような音楽表現にしたいかについてイメージをもつ。
- ◇題材の課題をつかむ。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ◇題材の課題解決に向けての大まかな見通しをもつ。
- ◇音や音楽の雰囲気を醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素等に注目して探る。

2 音楽を形づくっている要素と思いや意図とを関連付けながら表現を探る。

単位時間

【めあてをつかむ】

- ◇表したい思いや意図をもつ。

繰り返す → 更新する

- ◇音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現を試しながら工夫する。

更新する

- ◇表現の高まりを共有・共感し、その後の表現に生かす。

【まとめ・振り返りをする】

単位時間

単位時間

単位時間

3 発表等を通して表現の高まりを実感し、題材の学びを振り返る

- ◇グループごとの発表や、全体でまとめの演奏等を行う。
- ◇題材の学びを振り返る。

題材全体の振り返り



「つかむ」過程の具体的な学習活動は、

○出会った音や音楽について、感じ取ったことと**音楽を形づくっている要素**とを結び付ける

○音や音楽から感じ取ったことの原因について**音楽を形づくっている要素**に着目して探る
(題材の課題の設定)

題材の課題

問い

音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」

どんなふう
できているのかな

音や音楽

わくわくするのは
どうしてかな

「どんなふう？」「なぜ？」「どうして？」を明らかにしていく過程を経ることで捉えることができる

音楽を形づくっている要素とその働き

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽との出会いの場面

資質・能力の育成を目指す題材構想の考え方（参考）

授業は、教材として用いた音楽について学習する（教材を学ぶ）だけではなく、その教材を用いた学習を通して資質・能力を身に付ける（教材を通して学ぶ）ものである。また、そこで身に付けた資質・能力は、生徒のその後の人生における音楽との関わりをより豊かに幅広くするものである。したがって、ある教材を用いた学習で身に付けた資質・能力は、他の音楽と関わる際にも活用できるものにすることを念頭に置いた指導を心がけたい。

【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校芸術（音楽）p58】

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽との出会いの場面



ポイント

教材曲のもつ魅力(=曲の特徴)に、子供たちが気付くための工夫

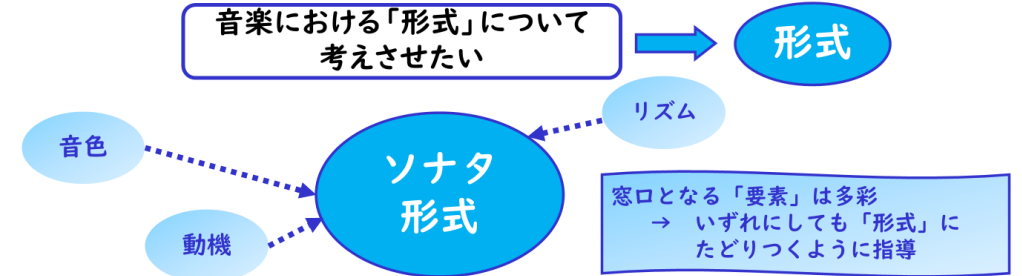
児童生徒が身に付ける資質・能力に関連した事項

題材構想と教材(曲)との関わり

重要!

教材を学ぶ → 教材を通して学ぶ

【例】交響曲第5番「運命」(Lv.ベートーヴェン 作曲)の鑑賞
★曲の魅力は…
オーケストラの楽器の音色の特徴や、それらが重なったときの響きの多彩さ



一致して
いますか?

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽との出会いの場面

【例】鑑賞領域で弦楽器の音色に着目させて学習しようと
考えた場合…

これまでは…



今日は、弦楽器が主役の音楽を
聴きます。

気付いたことをワークシートに
書き込みましょう。

なるほど、これが弦楽器
の音なのか。どんなこと
を書いたらいいのかな。



これからは…



今日は、ある楽器が主役の音楽
を聴きます。

どんな楽器かな。気付いたらそ
の楽器を演奏するまねをして教
えてね。

バイオリンかな…。弾いている
様子をまねしてみよう。



適切な発問（感じた理由を問い返す）による子供とのやりとり
を経て、題材の課題を引き出す過程を大切にしましょう

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

磯部小学校の例

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全4時間：本時第3時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「あわて床屋」「待ちぼうけ」の歌詞を音読したり、演奏を聴いて旋律を捉えたりしながら、日本語の抑揚やリズムと旋律との関わりを捉え、題材の課題を把握する。(あ) <p>題材の課題 詩と音楽との関わりのお宝を見つけ、日本語の歌曲を味わおう</p>	●	○	○
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「待ちぼうけ」の1番から5番の歌詞を、イメージした情景が伝わるように繰り返し朗読し、気に入った場面を選択して、歌詞の特徴や言葉のもつリズムやまとまりを生かした歌い方の工夫を考える。(あ) 		●	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・前後の場面のつながりに着目し、自分たちの気に入った場面のよさや面白さがよりよく伝わるように、ふさわしい表現の工夫を考えて歌う。(あ) 	● ●		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の「待ちぼうけ」の演奏を聴き、演奏者の工夫を見付けながら日本語の歌曲のよさや面白さについてまとめ、題材全体の振り返りをする。(あ) 		●	●

*活用する学習支援ソフト等：(あ) オクリンクプラス

音や音楽との出会いの場面

リズム・旋律・フレーズ

日本語のもつ抑揚やリズムとの関わりに気づき、関心を高める姿

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

磯部小学校の例

音や音楽との出会いの場面

日本語のもつ抑揚やリズムとの関わりに気づき、関心を高める姿

リズム・旋律・フレーズ



これから、とある詩を読んでみましょう。

どんな内容だったか、印象に残った言葉を教えてくださいね。

「かに」が主人公だね。

床屋をしているのかな。

「チョッキン チョッキン チョッキンナ」が面白いね。



歌詞の背景につながる
気づき

学習課題につながる
気づき



「チョッキン チョッキン チョッキンナ」を繰り返し声に出してみよう。

なんとなくリズムが生まれている気がして楽しいな。面白い理由をもっと探してみたいね。



3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

教材研究の視点

音楽を形づくっている
要素

演奏形態

表現の工夫

主に音楽の特徴に関わること

楽曲の背景

言語的要素
(歌詞や題名)

音楽文化を理解する素地と
なる視点も大切です

感受する手掛かりとなること

○自分自身でも歌ったり
聴いたりする

○気付いたこと(知覚)
感じたこと(感受)を
メモして整理する

○楽曲の背景にある情
報を収集する

○授業のねらいに沿って
関連する情報を選ぶ

※ねらいに迫れるような
演奏をしている音源を探
してもいいですね

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

○音や音楽との出会いから、題材の課題を引き出す

○表現への思いや意図をさらに膨らますことができる交流活動を
設定する

音楽科の問題発見・解決の過程について

試行錯誤する活動の具体について

音楽科の「追求する」過程

題材の学習過程

1 題材の課題を把握する。

- ◇音や音楽と出会う。
- ◇出会った音や音楽について、その雰囲気と音楽を形づくっている要素とを結び付けて聴き取る。
- ◇聴き取ったことを基に、どのような音楽表現にしたいかについてイメージをもつ。
- ◇題材の課題をつかむ。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ◇題材の課題解決に向けての大まかな見通しをもつ。
- ◇音や音楽の雰囲気を醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素等に注目して探る。

2 音楽を形づくっている要素と思いや意図とを関連付けながら表現を探る。

単位時間

【めあてをつかむ】

- ◇表したい思いや意図をもつ。

繰り返す 更新する

- ◇音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現を試しながら工夫する。

更新する

- ◇表現の高まりを共有・共感し、その後の表現に生かす。

【まとめ・振り返りをする】

単位時間

単位時間

単位時間

3 発表等を通して表現の高まりを実感し、題材の学びを振り返る

- ◇グループごとの発表や、全体でまとめの演奏等を行う。
- ◇題材の学びを振り返る。

題材全体の振り返り



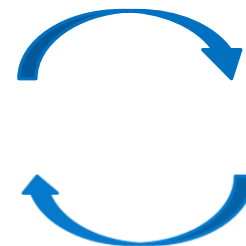
「追求する」過程の具体的な学習活動は、

○表したい思いや意図をもたせ、**音楽を形づくっている要素**と関連付けながら表現を工夫する (A 表現)

○**聴き取ったこと (知覚)** と感じ取ったこと (感受) を結び付けながら、聴き深める (B 鑑賞)

※A 表現を例に

表現を試行する



試行した表現の高まりを共有・共感する

つかむ

追求する

まとめる

音楽科の「追求する」

本時の流れ

1 学習に臨む雰囲気をつくる。

- 本時の学習内容とつながるリズム遊びやハーモニー遊び等の常時活動や、既習曲の演奏等を行わせる。

2 本時のめあてをつかむ。

- 前時の学びを紹介したり演奏させたりして、音楽を形づくっている要素と関連付けながらめあてを設定する。

【めあて】

3 思いや意図に合った表現をするために、音楽を形づくっている要素と関連付けながら表現を探る。

- 表したい思いや意図を問いかける。
- 思いや意図を基に、音や音楽、言葉を通して伝え合い、様々な表現を試させる。その際、音楽を形づくっている要素とその働きから、音楽の雰囲気が醸し出される理由を問いかける。
- 「なぜそのように工夫したのか（感じたのか）」など、教師が問いかけながら、児童生徒が聴き取ったこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）とを結び付け、児童生徒に意識化させていく。
- 友達の表現の工夫を認め合ったり、鑑賞曲を聴き直したりする場を設定し、児童生徒が表現を工夫する際の手がかりにする。

4 学習のまとめをし、学びを振り返る。

- 表現のよさや面白さを、音楽を形づくっている要素と関連付けて確認し、言葉や板書でまとめる。

学習のまとめ

- 表現を試してみて、気付いたことや感じたこと、分かったことを基に、自己の変容を振り返らせる。

振り返り



「学習に臨む雰囲気」のつくり方

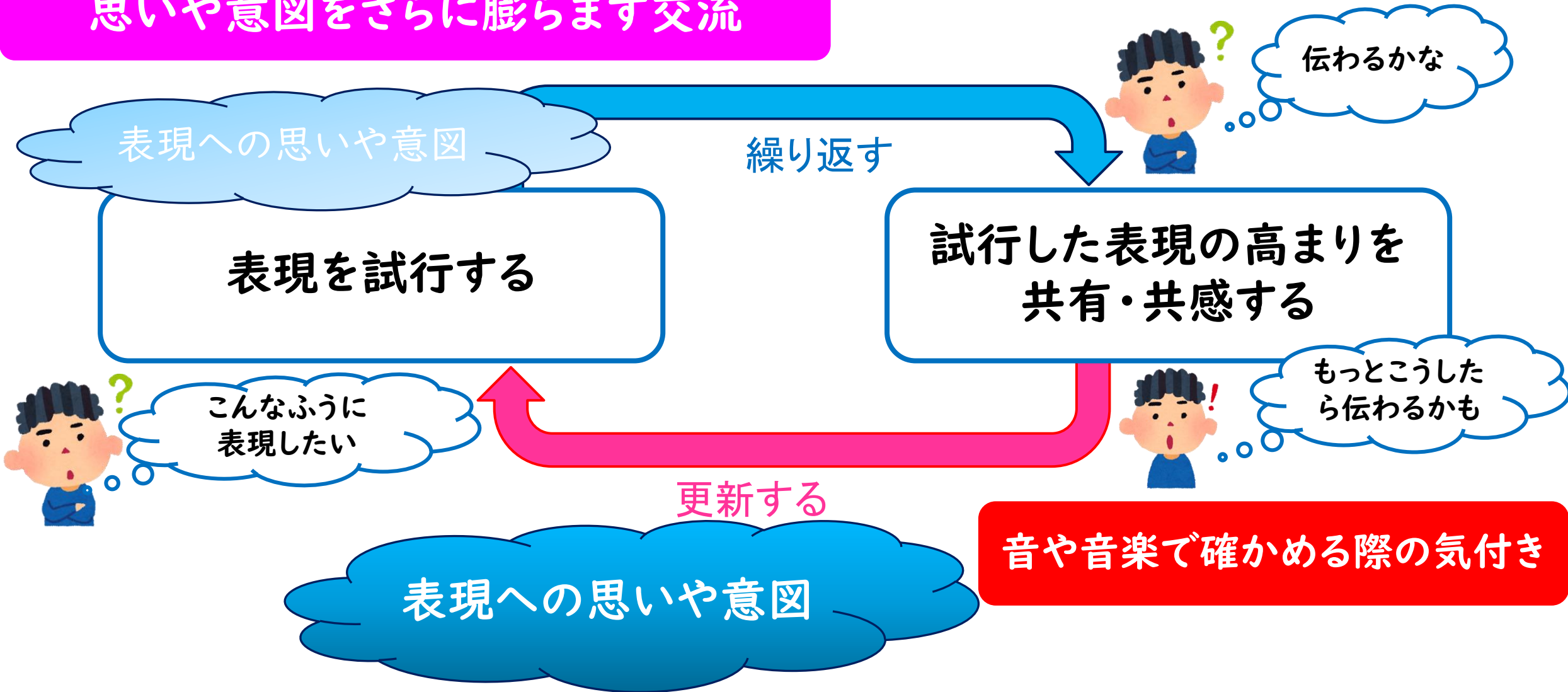
○前時の学習内容を、言葉とともに音や音楽を通して振り返る活動を設定しましょう

※本時の学習内容とつながる「常時活動」の考え方

- ・ 題材で扱う「音楽を形づくっている要素」に着目する
- ・ 思いや意図を表現するために必要な技能を、帯の活動で少しずつ身に付ける
→ 子供たちが身に付ける資質・能力を明確にする

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

思いや意図をさらに膨らます交流



3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽で確かめる際の気付き を促すために



もっとこうしたら
伝わるかも

確かめることは

自分たちの思いや意図に合った表現の工夫が、
音や音楽を介して「伝わっているか」ということ

手立て

音や音楽は消えてしまうものだから…

〈手立て①〉表現の工夫を視覚的に共有する

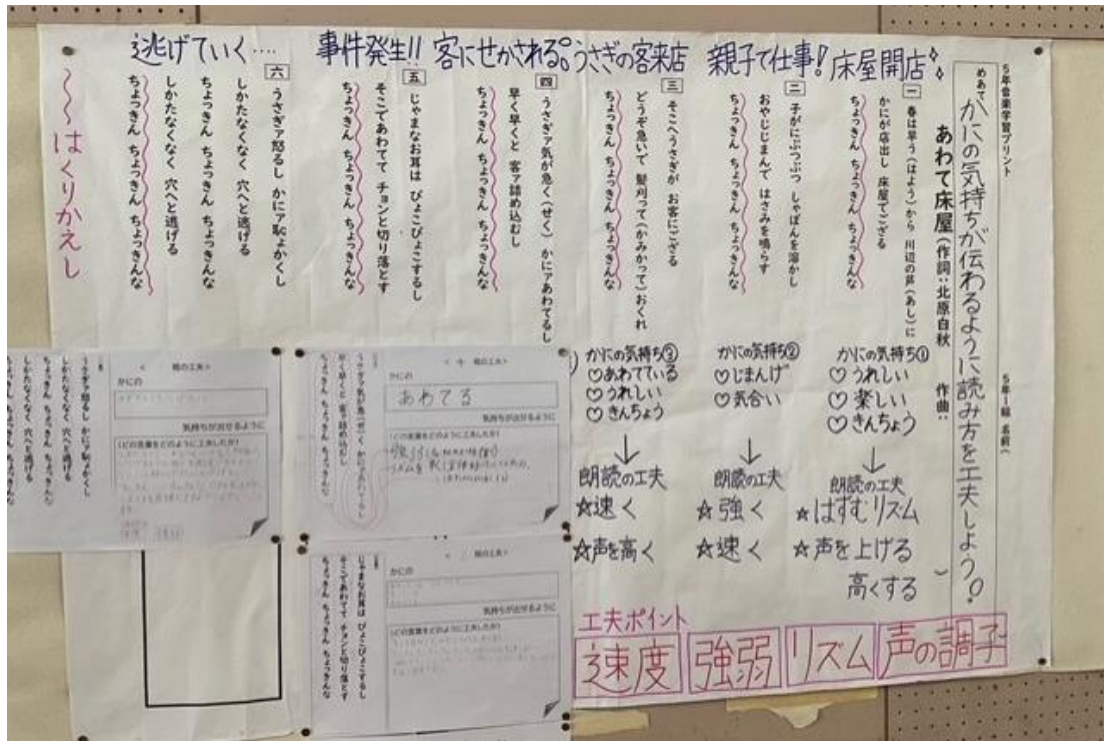
〈手立て②〉工夫した表現を録音（録画）して聴き返す

〈手立て③〉中間発表の場を効果的に設定する

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために 磯部小学校の例

音や音楽で確かめる際の気づきを促すために

〈手立て①〉表現の工夫を視覚的に共有する



〈手立て②〉工夫した表現を録音して聴き返す



3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽で確かめる際の気付き を促すために

〈手立て③〉中間発表の場を効果的に設定する

中間発表の目的

【発表者】表現に込めた思いや意図を自覚する

思いや意図が音や音楽で伝わったかどうか確認する


【聴き手】表現の多様さに気付き、さらなる工夫のヒントを得る

ポイント

効果的な中間発表の場となるよう、発問や対話をコーディネートする

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

効果的な中間発表の場となるよう、発問や対話をコーディネートする



特に「ここを聴いて欲しい」という
ポイントはどこですか。


主人公の「がっかりした気持ち」を表す
ために、**強弱を工夫したところ**です。




面白そうですね。では、このグルー
プの工夫を見付けて聴きましょう。




～演奏の後に～




本当だ。「がっかりした気持ち」
が伝わってきたよ。



では、音楽のどんなどころから
「がっかりした気持ち」が伝わって
きましたか。



「寒い北風」の部分から**だんだん**
弱くなるように歌っていました。



発表したグループの皆さん、工夫し
たところは合っていますか？

なぜ、音や音楽で確認するのか

音楽活動を通して、知覚・感受したことや自分の考えなどを言葉で表す。

言語活動

音楽活動

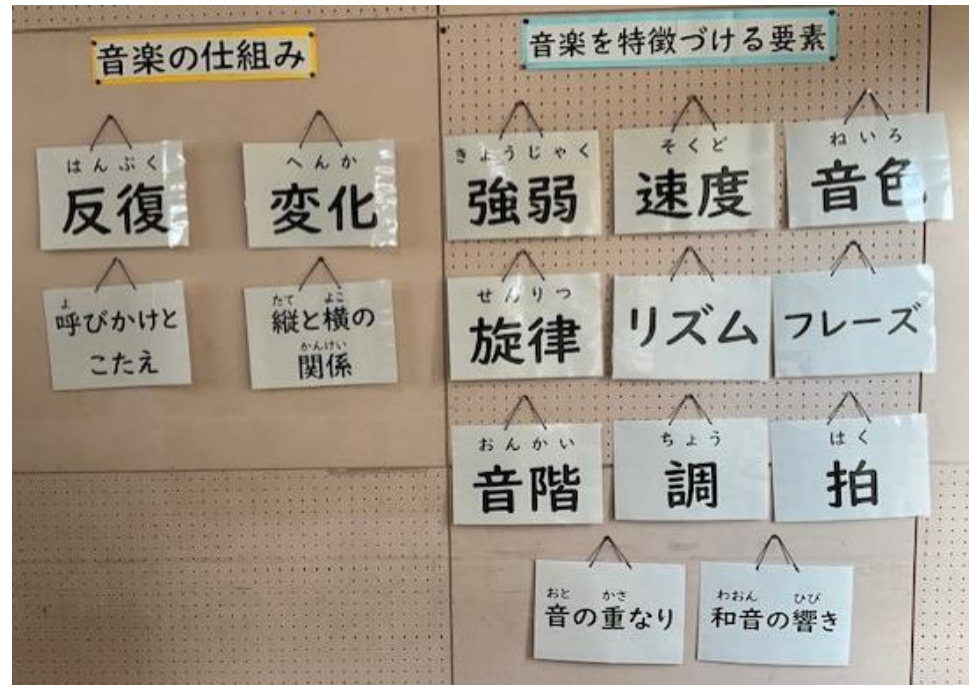
言葉で表したことを、音楽活動によって確認する。

音楽活動を通して確かめる過程そのものに学びの意味がある
音楽活動を通して確かめることで、**実感**を伴った**理解**を促す

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

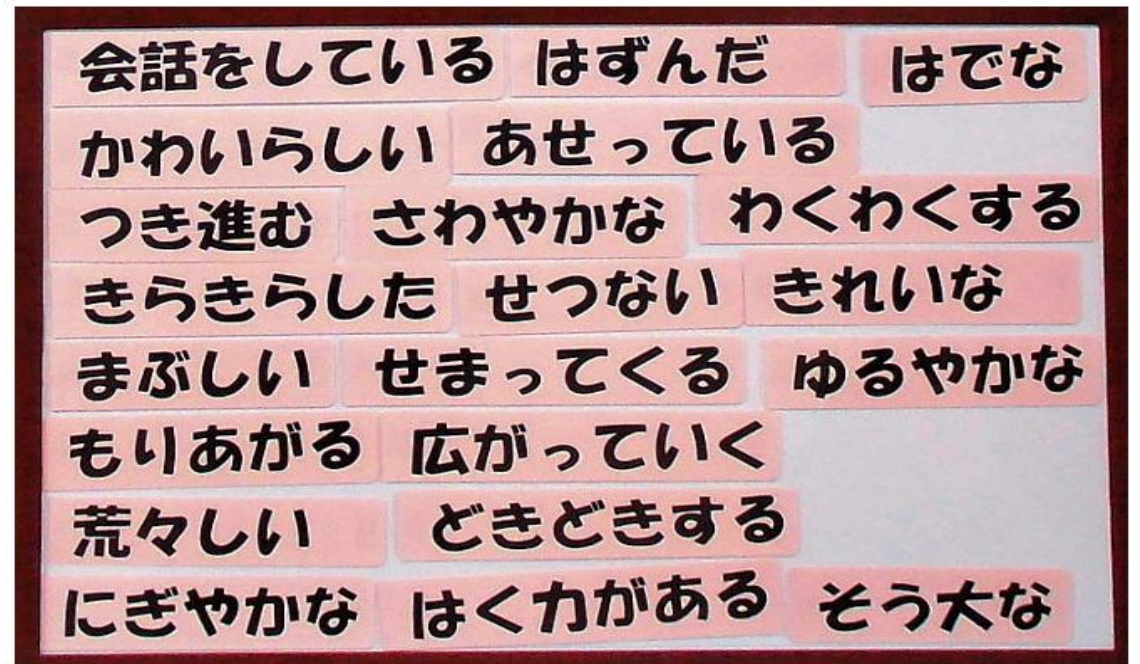
言語活動を促すための工夫

音楽を形づくっている要素の掲示・活用



磯部小学校の例

「音楽ことば」の蓄積



【イメージや感情を表すキーワードの例】
(はばたく群馬の指導プランⅡより)

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 音や音楽との出会いから、題材の課題を引き出す
- 表現への思いや意図をさらに膨らますことができる交流活動を設定する

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

音や音楽との出会いの場面

【例】鑑賞領域で弦楽器の音色に着目させて学習しようと考えた場合…

これまでは…

今日は、**弦楽器**が主役の音楽を聴きます。

気付いたことをワークシートに書き込みましょう。

なるほど、これが弦楽器の音なのか。どんなことを書いたらいいのかな。



これからは…

今日は、**ある楽器**が主役の音楽を聴きます。

どんな楽器かな。気付いたらその楽器を演奏するまねをして教えてね。

バイオリンかな…。弾いている様子をまねしてみよう。



適切な発問（感じた理由を問い返す）による子供とのやりとりを経て、題材の課題を引き出す過程を大切にしましょう

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

思いや意図をさらに膨らます交流

